


5 年生 「仙台の自然」授業での活用アイデア例

時期	単元名 おもな学習活動	学習に使用するページ
		資料
4 月	<p>単元名 「天気の変化」 学習活動例</p> <p>(1) 自分の住んでいる地域や他の地域の天気の言い伝えを知る。</p> <p>(2) 仙台の自然にある言い伝え以外に地域にある身近な言い伝えはないか調べる。天気が変わる理由を話し合い、単元の学習の見通しを持つ。</p> <p>天気の変化の仕方には、きまりがあるのだろうか</p>	<p>「仙台の自然」 p. 84, 85</p> <p>仙台地方の天気の言い伝え</p> <p>・太白山に雲がかかると雨になる ・黒ヶ岳の方に雲が入るとおは雨、出るときは晴れ</p>  <p>もっと知りたいことはないかな? 確かめてみましょう 身近な言い伝え飛行機雲がはっきり見えれば、天気が変わり目 のれ、すてい、天気って、おもしろい!</p> <p>・太陽や月の周りに輪がでると、雨 ・西風は晴れ、東風は雨 ・電車の音が近くに聞こえると雨 ・朝、遠くの山が見えれば晴れ</p>
9 月	<p>単元名 「台風と天気の変化」 学習活動例</p> <p>台風によって天気はどのように変わるのだろうか</p> <p>(1) 台風の雲画像を見て、気付いたことを話し合う。</p> <p>(2) 仙台の自然の台風の説明を読み、台風は熱帯低気圧が発達したものであることを知る。</p> <p>(3) 「仙台の自然」 p. 88 の「台風が仙台に来た日を記録しよう。」を記入し、台風についてまとめる。</p>	<p>「仙台の自然」 p. 88</p>  <p>▲ 台風18号(2018年8月21日) 出典:日本気象協会</p>
10 月	<p>単元名 「流れる水のはたらき」 学習活動例</p> <p>川の水はどのように土地の様子を変えているのだろうか</p> <p>(1) 「仙台の自然」p. 6～p. 11 を読み、川の上流、中流、下流、海岸付近の写真を見比べて、気付いたことを話し合う。 ※ 石の大きさや形、川の地形や幅、水の流れる速さに注目して考えさせる。</p> <p>(2) 仙台の川の中流が曲がっているわけを浸食、堆積作用をもとに考え、話し合う。 ※ 前時までの流水実験の結果も考慮して考えさせる。</p> <p>(3) 下流や海岸付近の自然堤防や浜堤の土はどのようにしてできたのか、運搬、堆積の作用に注目しながら考え、自分の考えをまとめる。</p>	<p>「仙台の自然」 p. 6～p. 11</p> <p><上流> </p> <p><中流> </p> <p><下流> </p>
総合・野外活動	<p>単元名 「地域の川を調べよう」</p> <p>★ 野外活動との関連の学習で 学習活動例</p> <p>(1) 学校の周りの川の水質について予想する。</p> <p>(2) 地域の川へ出かけ、「仙台の自然」 p. 60, 61 を参考にし、カワゲラ類やヤゴ(トンボの幼虫)などの水生昆虫を観察する。</p> <p>(3) 「仙台の自然」 p. 60～62 を読み、観察した水生生物から地域の川の水質の状態を知り、地域の川の水質について話し合う。</p>	<p>「仙台の自然」 p. 60～62</p>  <p>カワゲラ類 ▲オオヤマカワゲラ ▲カワゲラ(成虫)</p> <p>ヤゴ(トンボの幼虫) ▲コオニヤンマ ▲コンボゾヤンマ ▲ダビドサナエの幼虫 ▲ミヤマカワトンボ</p>